

令和4年度図書館そだて会議（落合図書館）議事録

日時：令和5年1月20日（金）

午後4時～午後5時20分

場所：落合総合センター 和室

参加者：一般7名（うち落合中学生1名、真庭高校生2名、先生1名）

職員3名（神庭、影山、高杉）

1 開 会 影山

2 あいさつ 神庭館長

3 図書館みらい計画の概要について 影山

広報まにわR3年7月号P6・7により説明

4 図書館みらい計画に基づいた落合図書館の取り組みについて 高杉

◆学校連携について

児童クラブへの定期的な貸出しを行っている。学校に向けても先生からの要望を受けて取り置き、貸出しを行っている。年度頭には新一年生に向けて「図書カードを作って図書館を利用しよう！」という案内チラシを配布する予定。

◆イベント・講座

月に1回、読み聞かせと手遊び等を行うスウィートブック事業を行っている。また、ボランティアさんによる読み聞かせや本の情報交換会も第1土曜日に実施している。他にも公民館の居場所づくり事業と連携した図書館講座を夏休みや冬休み時期に合わせて開催しており、例年好評いただいている。

◆広報

イベントの際は、各学校・園に向けてチラシを配布し周知している。

図書館自体の存在を知らない人も多く、乳幼児健診のときたまたま知ったという人もいたので、まずは知ってもらえるよう工夫が必要だと感じている。

◆図書館サービス

中央図書館や地区館、県立図書館とも連携しながら本の貸借を行っている。また図書館から遠い方々にも本が届けられるよう、ブックるんまにわも巡回している。

5 意見交換

・本が親子をつなぐものであってほしいと思う。新たな発見・出会いのために図書館にきている。

・3さい頃から親に連れてきてもらっている記憶がある。図鑑を読んで魚や生き物が好きになったり、その後本がきっかけで歴史を好きになったりしている。

- ・本は全く読まなかったが、娘ができてから読み聞かせて絵本を読んだりしている。また、テレビをみて興味を持った人がおり、「あ、図書館でその人の本を借りよう」と思い立って図書館を利用した。本を通じて色んなきっかけができれば。
- ・昔大好きだった本を大人になってからふと読みたいと思い購入した。その当時の思い出がよみがえってきた。今は Kindle で本を読むことが多いが、大切な本は紙の本で保管したいという気持ちもある。世代が変わっても引き継げるものであってほしい。
- ・そもそも図書館の存在を知らない学生も多い。学校に図書館のお知らせをもらえたら、掲示はできる。
- ・真庭高校については、放課後の過ごし方や勉強の仕方は人それぞれ。学校は残れても 17 時までで、それ以降は申請が必要。図書館がクラス以外の居場所になったら嬉しい。
- ・雑誌やマンガがあると嬉しい。カフェみたいなものもあるといいな。
- ・看護の問題集がほしい。
- ・本が好きな友だちがいるが、図書館から遠くなかなか行けないという子がいる。中学校は学校帰りの寄り道禁止なので、帰り道でも寄ることができない。
- ・落合図書館の新作図書を学校にお知らせするので、掲示してほしい。
- ・高校生のおすすめ図書等を教えてほしい。
- ・中学校の図書だよりをもらえたら、選書の際かぶらないようにする参考にできる。
- ・授業の一部の時間を活用して図書館ツアーができればおもしろい。

- 6 令和 5 年度落合図書館の計画（目標）について 影山
- 情報交換でいただいた沢山の意見を参考に、具体化していきたい。
- 公民館の居場所づくりと連携した図書館講座は引き続き続けていく。目標は 3 回。
- 今年度、利用者登録が 100 人目標のところ 12 月末で 74 人。
- また貸出冊数は 1 人 5 冊が目標のところ 12 月末で 2.4 冊と目標達成には厳しい状況。
- 愛される、利用しやすい図書館を目指してみなさんの意見を活かしながら活動していきたい。

7 その他

8 閉 会 影山